

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 常滑商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考			
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価						今後の展開・改善点等		
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	必要性			補足	目標①	目標②
巡回・窓口相談指導事業	管内事業所の大多数を占め、商工業の基盤をなす小規模事業者の経営の安定強化に努めるため巡回窓口相談指導を実施する。	・巡回窓口指導実企業数 391社 ・巡回窓口相談指導延件数 823件 ・創業支援件数 34件 ・課題解決提案件数 34件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 109.7 %)	750	実績数値 823	指標 課題解決提案件数 (達成度 113.3 %)	30	実績数値 34	販路拡大や生産性向上を目指す事業計画策定支援を実施し補助金活用等につながった。あわせて、マル経融資を効果的に活用し、生産性向上や資金繰り改善を図った。また後継者や創業者のヒアリングを丁寧に行い、スムーズな事業承継や開業につながった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 B 必要性 A	満足度 B A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	外部環境が厳しさを増す中、小規模事業者が直面する個々の経営課題に対して、より積極的に伴走型支援を実施する。	○
記帳継続指導	管内個人小規模事業者の自主記帳の促進を図ることを目的に、記帳から決算申告まで記帳実務の習得に向け指導を実施する。	・指導対象者 48名 ・指導日数 191日 ・指導回数 444回	小規模事業者	指標 指導対象者 (達成度 106.7 %)	45	実績数値 48	指標 指導回数 (達成度 277.5 %)	160	実績数値 444	記帳継続指導を通して記帳機械化の習得と経営管理の重要性について認識を深めることができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	創業者支援のツールとしても活用する。また確定申告だけでなくとまらざる経営改善につながるようデータの読み方についても支援する。	
講習会等	常滑市商工業の基盤をなす小規模事業者の資力向上を目的に、実践的な講習会並びに個別相談会を開催する。	・集団指導 4回 35名 (内、経営革新 1回5名) ・個別指導 106回 253名 計 110回 293名	小規模事業者	指標 集団指導回数 (達成度 400.0 %)	1	実績数値 4	指標 個別指導回数 (達成度 706.7 %)	15	実績数値 106	個別相談は各々の経営課題に応じて専門家につなぎ、丁寧に課題解決につなげることができた。集団指導では、1 Tツールの事業活用や税制セミナー等事業者ニーズに幅広く対応した。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	事業者のニーズにそったテーマにした講習会を開催する。個別相談会は幅広い分野で実施する。	○
産業活性化事業	地域と連携した地域振興のイベントを開催し、小規模事業者の販路拡大を支援する。	・小規模事業者商品開発コラボイベント (12月) ・RinkuTwilight 出展者 86件	小規模事業者	指標 出店者数 (達成度 237.5 %)	40	実績数値 95	指標 (達成度 %)			出店した事業者同士が繋がり、コラボ商品を開発、販売するなど商品開発や新たな販路開拓につながった。RinkuTwilightは管内外からの出店を募り、事業者交流や売上相乗効果を生み出した。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 B 必要性 B	満足度 B B	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	アジア・ジバラ大会やMICEイベントを利用した販路開拓や売上向上を目指す。	
産業活性化事業	販路拡大を目指す小規模事業者の各種展示会等出展を支援する。	・展示会「Food Style」出展者 8件	小規模事業者	指標 Food Style出展者数 (達成度 40.0 %)	20	実績数値 8	指標 (達成度 %)			出展準備段階の支援を強化し、継続的な出展意欲につながった。また、出展費用の補助金活用等を支援し、費用的な課題解決にも寄与した。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 A 目標達成度 C	調査結果 B 必要性 B	満足度 B B	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	小規模事業所のPR及び販路拡大につなげる場として有効であることから継続する。	
情報化推進事業	小規模事業者を対象に、各種施策情報や講習会・セミナー案内、イベント情報等について、SNSツールを活用し、リアルタイムに情報発信することを目的とする。また事業者の情報化支援も強化する。	・SNS登録（フォロー）事業者数 Instagram 274名 LINE 39名	小規模事業者	指標 SNS登録事業者数 (達成度 69.6 %)	450	実績数値 313	指標 (達成度 %)			未接触の事業所も含め、SNSのフォローにより効果的に情報発信をすることができ、リアルタイムの情報発信ツールとして功を奏した。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 A 目標達成度 C	調査結果 A 必要性 B	満足度 A B	補足	目標① 下げる 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	引き続きSNS等の情報ツールを効果的に活用しながら情報発信を強化していく。	
青年部事業	常滑市商工業の基盤となる若手経営者・後継者の自己研鑽・相互啓発活動を通じ、人格・経営能力の向上を図ることを目的とする。	青年部会員数 101名 (実施事業等) ・全国大会、会長研修会、東海ブロック大会、県連青年部会議等参加 ・視察研修開催、地域振興事業実施 ・事業者交流事業実施 ・広報誌発行	小規模事業者	指標 青年部会員数 (達成度 112.2 %)	90	実績数値 101	指標 (達成度 %)			新規会員獲得活動を強化し、会員数の増加につながったことで組織の活性化を図ることができた。また地域振興事業を通して、地域課題の認識も深めた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 B 必要性 B	満足度 B B	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	活動基盤を地域に置き、次代の地域の担い手として活力ある地域に密着した活動を継続する。	

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 常滑商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考				
				目標①			目標②			得られた効果				A B C D評価				今後の展開・改善点等		
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	必要性		目標①	目標②		
部会・委員会事業	常滑市商工業の基盤をなす小規模事業者の経営安定強化に努めるため、部会委員会を開催して共通する課題解決につながる事業を実施する。	・常議員会・部会・委員会の開催等 開催回数 22回	小規模事業者	指標 部会・委員会事業開催回数 (達成度 91.7 %)	24	実績数値 22	指標 (達成度 %)	人づくり委員会では、中学校で職業講和を開催したり、健康経営推進活動を積極的に実施した。会員の資質向上に加えて地域活動への貢献を図ることができた。委員拡大委員会では、新入会員を対象とした交流会を実施し、会議所の活用についてPRした。部会活動も活発に実施し、交流事業やイベントを開催した。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	必要性 B	目標① 現行どおり	目標②	部会・委員会の取組を通じ、小規模事業者の支援や地域活性化事業に繋げていく。			
福利厚生事業（福祉共済制度事業）	中小企業・小規模事業経営者、従業員等に資する福利厚生の支援を実施する。	中小企業・小規模事業者等の経営者、従業員等に常滑商工会議所共済制度「うらおい共済」の普及及び加入推進・共済制度加入事業所数 218事業所	小規模事業者	指標 共済制度加入事業所数 (達成度 54.5 %)	400	実績数値 218	指標 (達成度 %)	中小企業・小規模事業者等の経営者、従業員等に対して保険及び見舞金などを支給し、小規模事業者の福利厚生の充実を図ることができた	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	必要性 B	目標① 下げる	目標②	小規模事業者の福利厚生の充実に資するよう共済制度の活用を推進していく。			
健康普及事業（健康診断事業）	管内中小企業・小規模事業の経営者及びその従業員の健康管理を目的に、事業主・従業員を対象とした健康診断を実施する。	中小企業・小規模事業者等の従業員等を対象とした健康診断の実施・健康診断受診事業所数 90件	小規模事業者	指標 健康診断受診事業所数 (達成度 112.5 %)	80	実績数値 90	指標 (達成度 %)	中小企業事業所の従業員の健康管理を推進することができた。	総合評価 A	事業評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	必要性 B	目標① 現行どおり	目標②	健康診断の推進とあわせて、健康経営についても積極的に促進する。			
労働保険事業	小規模事業者の雇用保険・労災保険の事務量の軽減のため、労働保険事務代行を実施するとともに、特別加入制度の利用により、労務改善普及を図る。	中小企業等事業主の労働保険事務代行・労働保険事務組合加入事業所数 105件	小規模事業者	指標 労働保険事務組合加入事業所数 (達成度 95.5 %)	110	実績数値 105	指標 (達成度 %)	小規模事業者の労働保険事務の代行により、雇用保険・労働保険等の事務の適正化と事務量の緩和をすることができた。	総合評価 A	事業評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	必要性 A	目標① 現行どおり	目標②	事務代行による、適正な事務処理を図る。			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。